

環境経営レポート

山陽製紙株式会社

2020年度 第64期

(対象期間 2020年10月1日～2021年9月30日)





目次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
経営理念	2
環境経営方針	2
会社概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
環境活動の紹介	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	17



ご挨拶

『「紙創り」を通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献すること』を基本理念として、日々精進しております。

どうしたら自然と共生できるかということを常に考え、そのために自然を守る活動や地球環境負荷低減活動に、全社員で積極的に取り組む会社でありたいと思います。

エコアクション 21 の活動を通して、より一層の理念の浸透を目指します。

山陽製紙株式会社 代表取締役 原田 六次郎



経営理念

『私たちは紙創りを通してお客様と喜びを共有し、
環境に配慮した循環型社会に貢献します。』

- ・私たちは希少価値のある紙をお客様と共に創ります
- ・私たちはお客様と共に成長発展することを喜びとします
- ・私たちは資源として使った地球の財産を守り、再生し、循環型社会に貢献します。

環境経営方針

山陽製紙は、地球環境を守ることが全人類の最重要課題の一つであることを認識し、どうしたら自然と共生できるかということ
を常に考え、環境問題に全社員で積極的に取り組みます。



環境経営方針

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水資源の節水
- ④循環資源を活かし、環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ⑤グリーン購入（環境に配慮した資材の購入）の推進
- ⑥化学物質の適正管理
- ⑦環境人財の育成

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

制定日：2007年11月13日 / 改訂日：2018年10月30日

原田 六次郎



会社概要

代表者	代表取締役 原田六次郎
社員数	48名
創業	昭和3年3月
設立	昭和32年12月
本社工場	大阪府泉南市男里6-4-25
東京営業所	東京都千代田区岩本町2-17-2 秋葉原サウスイーストビルディング8F
事業内容	紙類の企画、製造・販売、並びに紙再生サービス
営業目的	各種クレープ紙の製造及び販売 自社ブランド商品 (SUMIDECO、crep、PELP!) の企画・販売 電子部品用層間紙の製造および関連資材の販売 その他オーダーメイド再生紙の製造 他
事業規模	製品売上高 / 10億7,000万円 主要製品生産量 / 3,645 t / 年
主要施設	土地 / 10,400 m ² 、建物 7,100 m ² 設備 / 抄紙機2台、スリッター設備一式、フレキシ印刷機、平判断裁機、シートマシーン一式、活性炭ろ過方式排水処理設備、常設ギャラリー 他
認証取得	ISO9001 (2001年～)、エコアクション21 (2008年～)



自社プロダクト



crep

丈夫で水に強い工業用クレープ紙から生まれたスタイリッシュなアイテム



crepの導入事例



SUMIDECO

製造副産物を機能紙に。炭の消臭機能を生かした可愛いアイテム



SUMIDECOの導入事例

工業用クレープ紙の製造



産業用梱包紙

耐久性に優れた糸入りクレープ紙を中心に用途やニーズに合わせて加工いたします



紙袋用関連商品

セメント袋、飼料袋などの口縁用クレープ紙として多くのメーカーに選ばれています



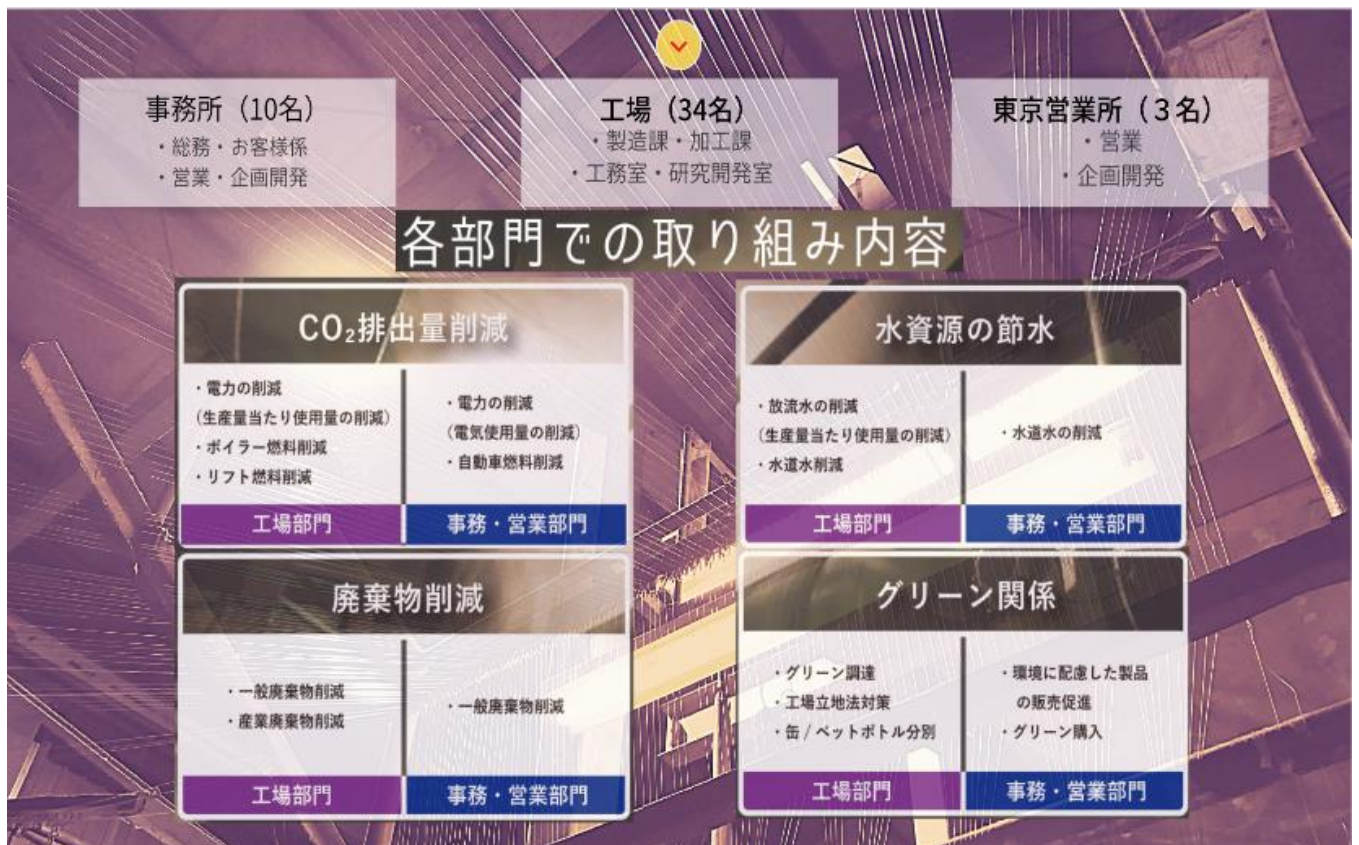
電子部品用層間紙

弊社では10mm幅からスリットが可能、お客様のニーズに応じて加工いたします



その他包装紙

クレープ紙ならではの緩衝性で内容物を守るその他包装紙「ちぢみ」



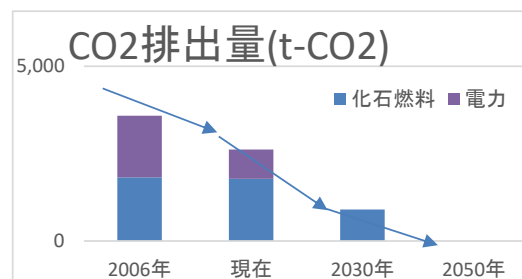
主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,746,319	2,494,192	2,620,106
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	197	230	244
産業廃棄物排出量	トン	289	149	102
水使用量	m ³	337,000	436,000	405,223
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.240	0.240	0.240
				kg-CO ₂ /kWh
				みんな電力

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO₂

	化石燃	電力	対 策
2006年	1,821	1,763	
現在	1,779	842	省エネ+太陽光発電+再エネ電力
2030年	900	0	省エネ+太陽光発電+再エネ電力+クレジット
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+再エネ電力+クレジット



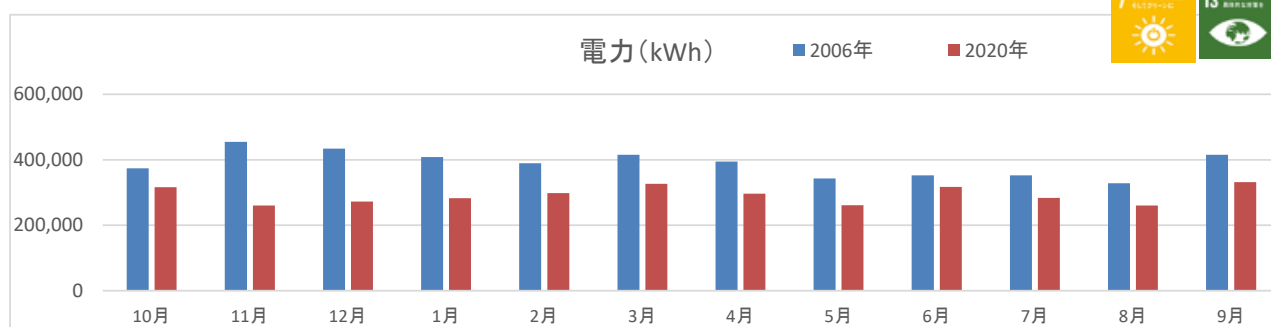
環境経営目標及びその実績

項目	年度	2019年			2020年			評価	2021年	2022年
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	
電力による二酸化炭素削減(工場)	kWh	4,637,357	923,247	3,506,355	×	3,431,644	3,385,271			
	kg-CO ₂	1,112,966	834,724	841,525	×	823,595	812,465			
	基準年度比		75.0%	75.6%		74.0%	73.0%			
	原単位 kWh/kg	0.943	0.830	0.943	×	0.899	0.899			
	原単位 kg-CO ₂ /kg	0.226	0.199	0.247	×	0.216	0.216			
	基準年度比		88.0%	109%		95.4%	95.4%			
電力による二酸化炭素削減(事務所)	kWh	27,616	27,064	12,163	○	26,511	26,235			
	kg-CO ₂	0	0	0	○	0	0			
	基準年度比		98%	44%		96%	95%			
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,824,438	1,742,338	1,764,001	×	1,742,338	1,742,338			
	基準年度比		96%	97%		96%	96%			
	原単位 m ³ /kg	0.371	0.354	0.519	×	0.354	0.354			
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	40,101	17,243	14,580	○	16,842	16,441			
	基準年度比		43%	36%		42%	41%			
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,864,539	1,759,582	2,620,106		1,759,181	1,758,780			
一般廃棄物の削減(工場)	kg	231,597	169,065	243,686	×	169,065	166,749			
	基準年度比		73%	105%		73%	72%			
一般廃棄物の削減(事務所)	kg	392	100	412	×	102	98			
	基準年度比		26%	105%		26%	25%			
一般廃棄物の削減(東京営業所)	kg	54	38	44	×	35	32			
	基準年度比		70%	80%		65%	60%			
コピー用紙の削減	kg	54	23	14	○	20	15			
	基準年度比		43%	26%		37%	28%			
産業廃棄物(汚泥)の削減	kg	307,350	149,065	101,830	○	144,455	141,381			
	基準年度比		49%	33%		47%	46%			
水道水の削減(工場)	m ³	3,267	3,104	3,228	×	3,071	3,038			
	基準年度比		95%	99%		94%	93%			
水道水の削減(事務所)	m ³	1,104	166	139	○	155	144			
	基準年度比		15%	13%		14%	13%			
放流水の削減	m ³	616,221	431,355	405,223	○	425,192	419,030			
	基準年度比		70%	66%		69%	68%			
環境配慮製品の販売促進	m ³ /kg	0.125	0.088	0.119	×	0.086	0.085			
	千円	4,247	67,957	108,940	○	72,204	76,452			
	基準年度比		1600%	2565%		1700%	1800%			
課題を解決しチャンスを活かす取組								行動目標(次項による)		

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

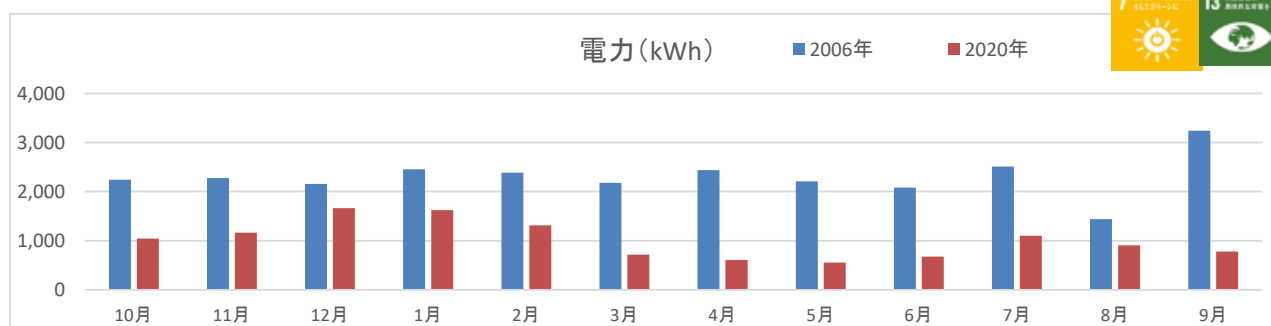
数値目標: ○達成 ×未達成
 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減(工場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	コロナ過の電気需要としては、どうしても少し無駄な使い方になってしまいがちであるが、来期に向けて新しい活動や電気の省エネ化、また省エネ診断のお話も頂いているので、無理せず人の命は守り、それ以外の無駄使いを無くしていきたいと思う。
原単位目標	×	
・不要照明・電灯の消灯	○	
・明かり窓の設置	○	
・センサーライトの設置	○	
・電灯の数を減らす	○	
・蛍光灯の変更(省エネタイプ)LED化	○	



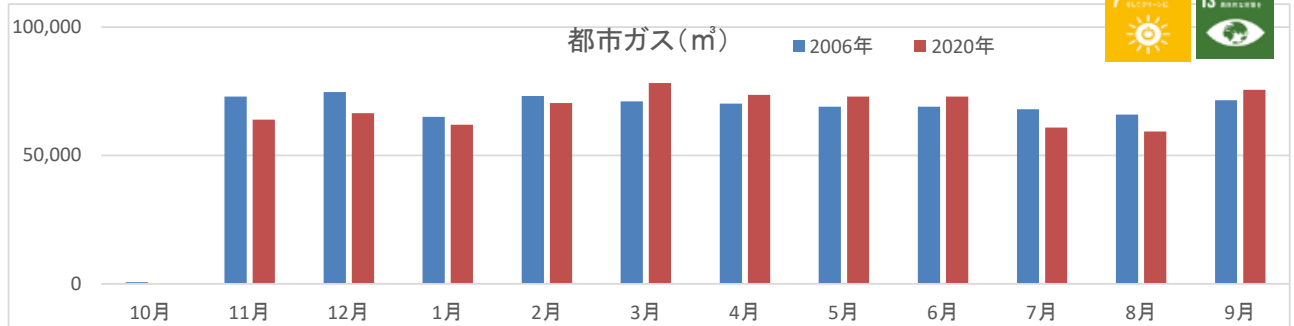
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	374,231	455,137	434,106	408,073	389,526	414,773	394,573	342,988	352,093	352,093	328,016	415,028
2020年	315,845	260,098	272,566	282,314	298,452	326,404	296,457	261,442	317,024	283,429	260,565	331,759

電力による二酸化炭素削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	事務所移転により旧事務所の使用が減ったこともあると思うが今後も無駄な電気の消灯や意識付けをおこなってきたい
・不在時消灯の徹底	○	
・冷房28℃, 暖房20℃設定の徹底	○	
・不在時のパソコンの電源オフの徹底	○	



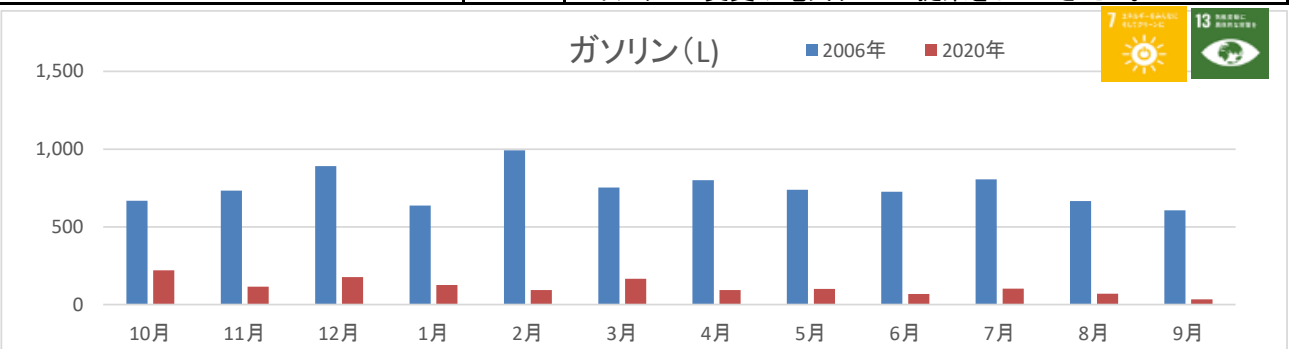
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	2,244	2,279	2,154	2,457	2,386	2,179	2,435	2,207	2,081	2,513	1,438	3,243
2020年	1,042	1,167	1,664	1,622	1,316	719	609	558	676	1,100	907	783

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	製造課によるコロナ対策の面やオーダーメイド製造が多くもなってきたり、未達に終わったが、なんとか頑張れば(省エネ化)もう少しで達成できたのかなと思うので、来期はきっと達成し今後の効率化も目指したいと思います。
原単位目標	×	
・蒸気漏れの保守点検	○	
・蒸気配管の保温材	○	
・効率の良い抄紙機運転	○	

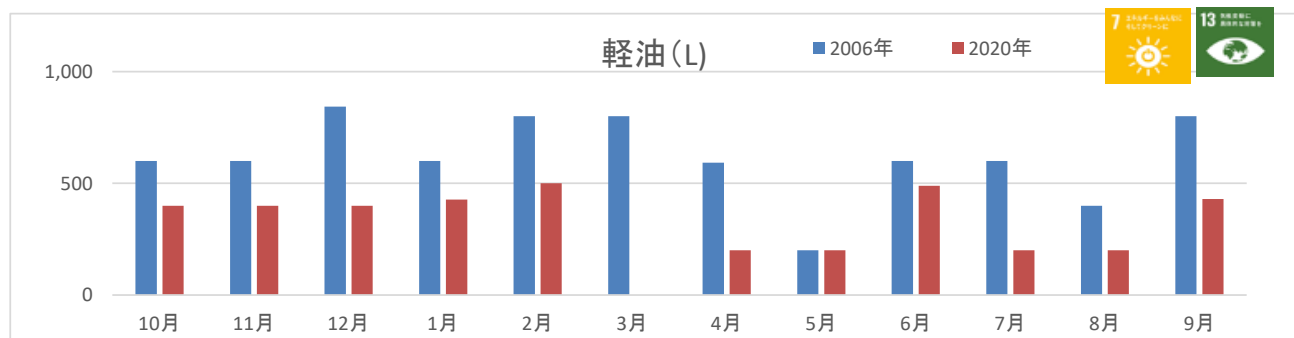


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	668	72,892	74,715	65,080	73,147	71,049	70,150	69,023	69,023	68,012	65,970	71,561
2020年	221	63,934	66,450	61,920	70,395	78,200	73,645	72,954	72,954	60,836	59,343	75,580

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	営業車2台共に走行距離20万Kmをオーバーしているが、フィールダーの燃費平均で16Km/Lをキープできている。ピッツにおいての使用頻度は低いが営業活動としては必要である。次回の車検時には、EV社やハイブリット車を検討する。レイアウトの変更や電気リフトの提案をしていきたい。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・電気リフトへの変更	○	

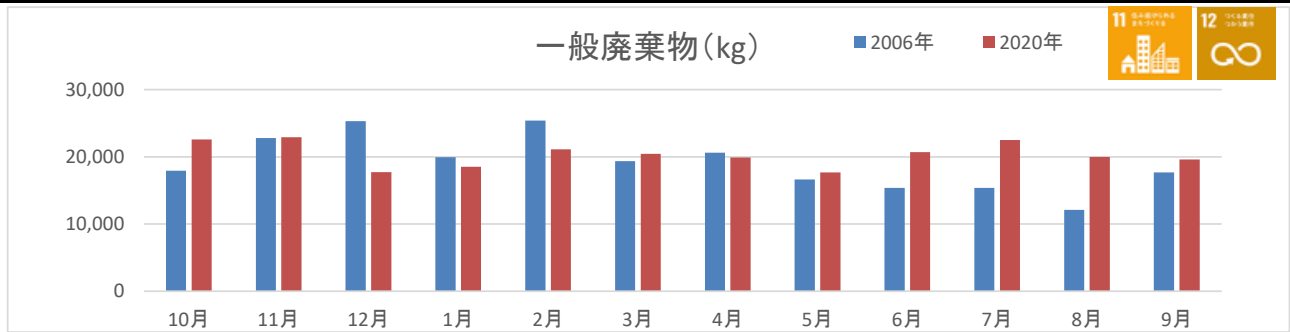


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	668	733	891	637	992	754	800	739	726	806	667	605
2020年	221	115	178	126	93	165	94	100	68	102	69	33



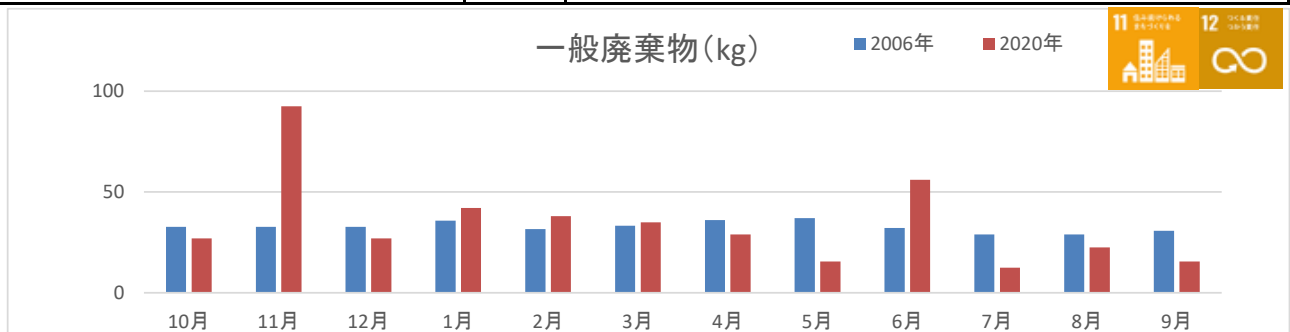
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	600	600	843	600	800	800	592	200	600	600	400	800
2020年	400	400	400	427	500	0	200	200	489	200	200	430

一般廃棄物の削減(工場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	回収業者さんに全て任せるのではなく何らかのルールが必要。改善すれば必ず重量は減らせることが出来る。
・弁当の割り箸をなくす	○	
・工程ロスの削減	○	
・分別回収	○	
・事務書類をなくす	○	



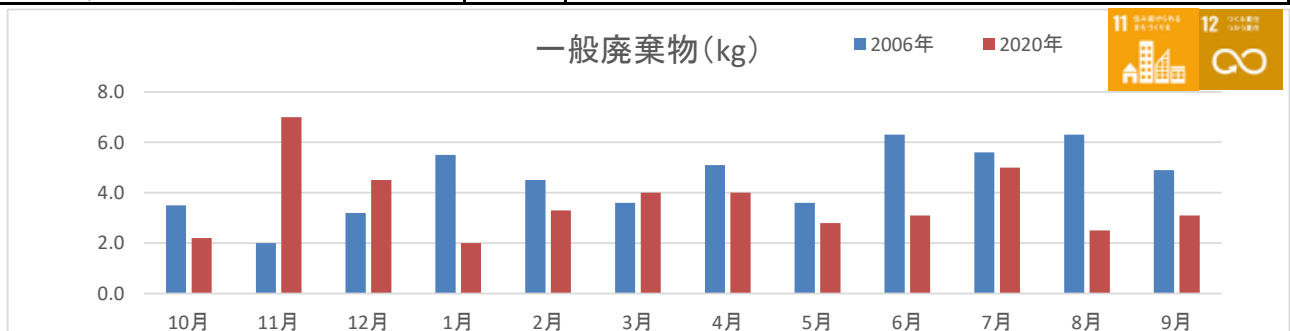
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	17,916	22,795	25,296	19,941	25,376	19,377	20,601	16,641	15,385	15,385	12,115	17,696
2020年	22,589	22,900	17,742	18,504	21,111	20,439	19,893	17,678	20,719	22,518	19,995	19,599

一般廃棄物の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	再生原料等の集計は新事務所に引越した後、しやすくなった。だが、本来分別をきちり行い、再生可能な廃棄会社へ細分すべきところが出来ていないので何か改善を考えていく必要があると期を通じて感じた。
・ロス荷札ラベルの有効利用	○	
・缶、ビン、PETボトルの分別回収の	○	
・事務所一般ゴミ調査	○	
・3S時の紙資源の再利用(原料にす	○	
・近3年での目標値を見直し	○	



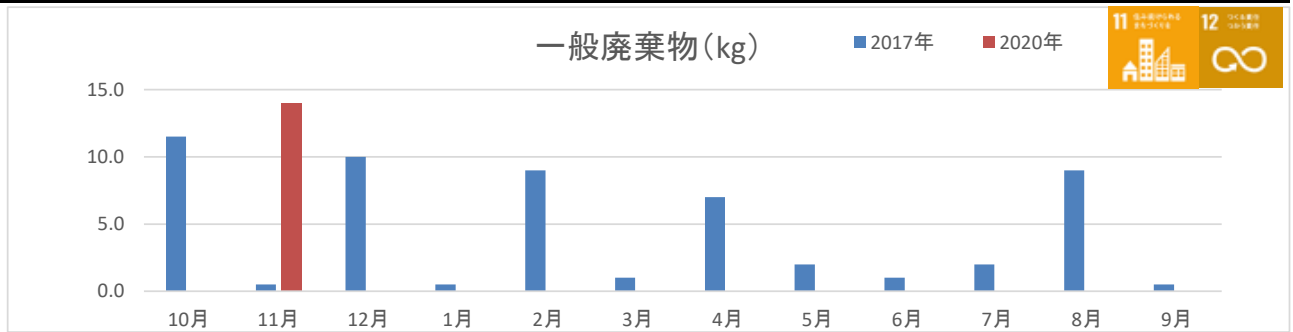
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	33	33	33	36	32	33	36	37	32	29	29	31
2020年	27	93	27	42	38	35	29	16	56	13	23	16

一般廃棄物の削減(東京営業所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	袋有料化もあり、袋のごみは減っているが、燃やすしかないゴミがどうしても出てしまう。フードロスなどはないので、コンポストも使えないので、頭打ちになっている。今後の削減の方法や考え方について、新しい情報が必要。
ロス荷札ラベルの有効利用	○	
缶、ビン、PETボトルの分別回収の徹	○	
事務所一般ゴミ調査	○	
茶紙を集めて大阪本社でリサイクル	○	



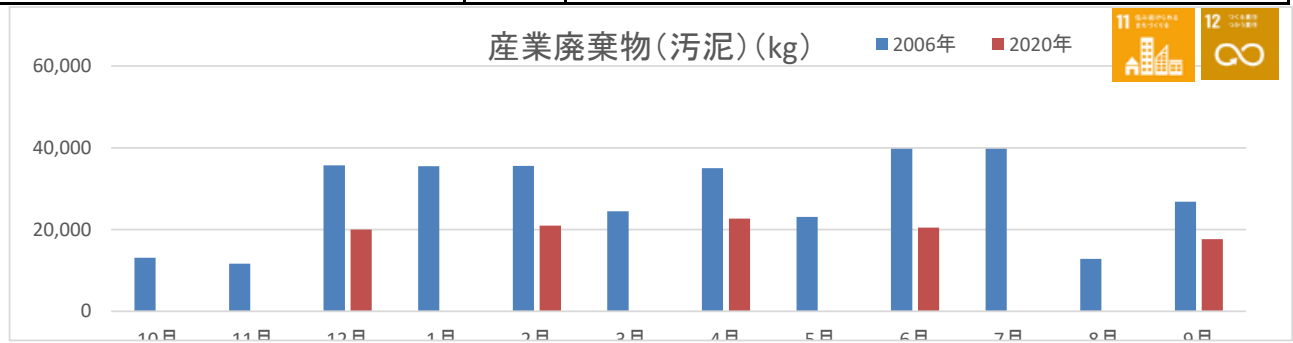
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	3.5	2.0	3.2	5.5	4.5	3.6	5.1	3.6	6.3	5.6	6.3	4.9
2020年	2.2	7.0	4.5	2.0	3.3	4.0	4.0	2.8	3.1	5.0	2.5	3.1

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	前期と対比し更なる削減ができた。
裏紙の使用	○	テレワーク実施に伴い削減が加速しているため、仕組みづくり含め
両面印刷の励行	○	
縮小印刷による枚数の削減	○	削減に尽力したい
プレビュー利用による印刷ミスの防止	△	



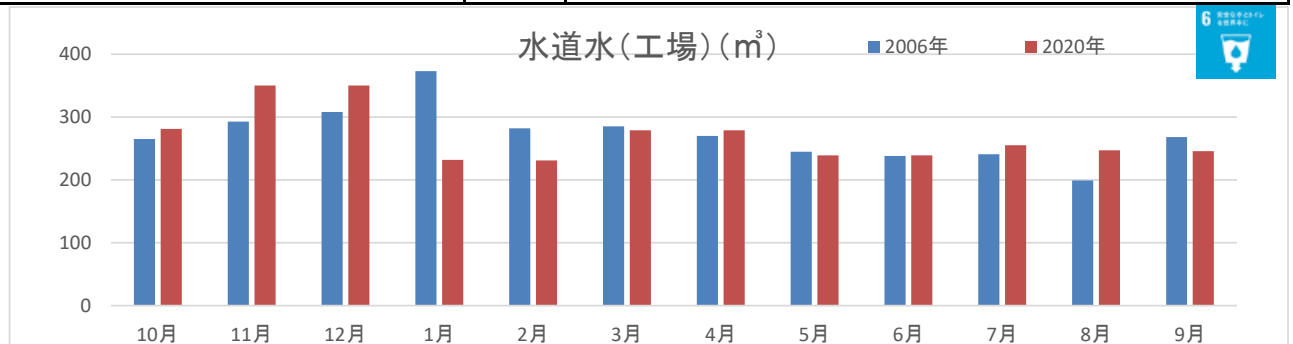
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	11.5	0.5	10.0	0.5	9.0	1.0	7.0	2.0	1.0	2.0	9.0	0.5
2020年	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

産業廃棄物(汚泥)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	保管管理や設備変更により、大幅に削減に繋がった。
・原料流出の防止	○	
・各ポンプ類の点検	○	
・分別 処理	○	



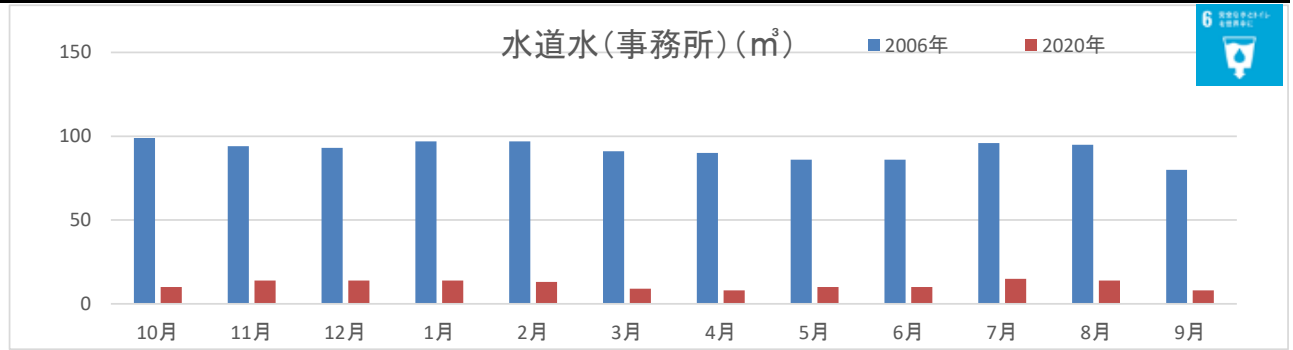
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	13,080	11,670	35,710	35,470	35,590	24,430	35,010	23,050	39,790	39,790	12,840	26,780
2020年	0	0	20,010	0	20,980	0	22,700	0	20,490	0	0	17,650

水道水の削減(工場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	全体を通して、改善活動よりは補修活動ばかりになっていた
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	小さな改善でもいから、改善活動を行っていく必要がある
・節水の呼びかけ	○	
・雨水の利用 (植木等)	○	
・トイレ改善	○	



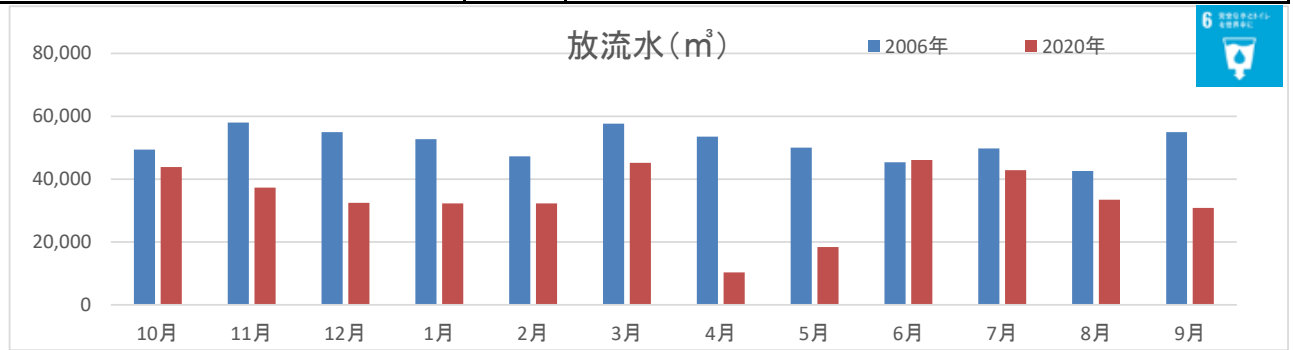
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	265	293	308	373	282	285	270	245	238	241	199	268
2020年	281	350	350	232	231	279	279	239	239	255	247	246

水道水の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	7月は表から見えないところでの水道管破裂(水漏れ)があり、数値が高く、8月は研究開発室へのサンプル依頼が多く、使用量が増えた。
・「節水」表示による意識向上	○	
・水道漏れの定期点検実施	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	99	94	93	97	97	91	90	86	86	96	95	80
2020年	10	14	14	14	13	9	8	10	10	15	14	8

放流水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	総括的には、目標対比では良かったと思う。
・歩留向上	○	
・加工ミスの削減	○	
・各ポンプの適正なバルブ操作による削減	○	
・雨水の再利用	△	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2006年	49,440	57,991	54,916	52,720	47,245	57,629	53,567	50,008	45,369	49,800	42,605	54,931
2020年	43,840	37,259	32,419	32,241	32,317	45,208	10,306	18,423	46,063	42,834	33,423	30,890

環境配慮製品の販売促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・梅炭クレープ紙の拡販	○	SDGsでの取り組みとして環境に配慮した製品を求める企業様は増えてきている 来期はイベントも出来るようになると思われますのでしっかりと対応していく
・原料・中間材の購入にあたり環境配慮	○	
・環境に配慮した物品を、現状に合わせ	○	
・炭の調達状況を把握している	○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
騒音・振動規制法	抄紙機、印刷機、空気圧縮機、スリッター
水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置	抄紙機、排水処理設備
公害防止組織法	排水処理設備
大阪府生活環境条例(大阪府地下水汲み上げ制限)	製紙用水
消防法	原料置き場、少量危険物貯蔵所
フロン排出抑制法	スポットクーラー、空調機
毒物劇物取締法	抄紙用薬品類

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

外部からの環境上の苦情・要請等

対象期間中外部からの苦情等はありませんでした。



環境活動の紹介① —eco検定—

自然の恵みを享受して成り立つ
製紙業だからこそ、環境問題が
最重要課題の一つであることを
認識し、エコな紙創りを目指す、
エコピープル（※）たち。

今年も3(2020年10月現在)

41

エコ検定合格者：39名
(2019年10月現在)



※エコ検定とは

正式には、『環境社会検定試験』といい、東京商工会議所が開催しています。

2006年10月に第一回の試験が行われ、以降毎年7月と12月に実施されています。

試験の点数は100点満点で、70点以上取れば合格で、合格した人は「エコピープル」として認定されます。



環境活動の紹介② —CSR検定—

循環型社会への貢献を掲げる
「経営理念」の実現がCSRの取
り組みにつながると考え、より
理解を深めるため、全員合格を
目指します。

今年も0名です。

CSR検定合格者：24名
(2020年10月現在)



※CSR検定（3級）とは

企業や組織がサステナブル（持続可能）になるために、CSRの基本知識を身に付け、CSR活動が企業価値を高め、NPOとの協働の重要性、企業と社会が連携して社会的課題を解決する意味など、「CSRリテラシーの基本」を身につけることを目的としています。毎年4月と10月に試験が行われています。



環境活動の紹介③ —アドプトリバー男里川—

紙を創るのにかかせない、伏流水の供給源である男里川（おのさとがわ）。毎月有志で清掃しています。ゴミを拾ったり、草を刈り取ったり。魚や鳥の住みやすい環境をつくるために、地域の皆さまと協力して、毎月第二日曜日、朝8時から1時間ほど、活動しています。

夏も！



冬も！



海も！



環境活動の紹介④ —BCP訓練—

-もし未曾有の災害が起こったら-
-昨年から導入しているBCP訓練では災害（津波・地震）が起きた際の、その後の経営も含めた対策と避難を実際出来るかどうかの訓練を実施しました。

初期初動では改めて必要なモノや道具、避難経路に関して協議をし、年に1回でも継続した訓練を実施していく事を決めました。



避難場所、災害備品など
しっかり確認！





環境活動の紹介⑤ —ドリカムスクール—

「ドリカムスクール」は、企業が自社の仕事や仕事にける思いについて出前授業を行い、学生がその企業から与えられるミッションの解決に向け、グループワークで取り組むものです。地元への地域貢献と若手社員の理念の浸透にも役立つと考え、2016年に初めて実施しました。今年で6年目になります。

小学生に工場を案内する
若手社員



仕事への思いや夢を
語る若手社員



小学生に自社の紙の特徴
を伝える若手社員



今期の目標を掲げる
メンバー5名（三期生）



環境活動の紹介⑥ —3S活動—

3S活動とは、「整理・整頓・清掃」を仕事の一環として、生産性・効率化・安全性を考え、**会社全体の環境改善に取り組む活動**です。

- 汚れる頻度の多い場所の仕組みを変えて、汚れない環境にする
- 工程の多い仕事の流れの短縮化
- 危険個所の修繕や補強・看板設置などにより安全な環境を確保する活動です。

毎年関西では「3Sサミット」というイベントが開催され、弊社は毎年参加しています。

完了。手袋は汚染車（その上へ手や物を置く）進入、使用されているタコソックスを定期的に交換、靴はロッカー一対、業務用靴袋・風呂、ヘルメット掛けも設置、継続して清潔な状態を維持できるように整備します。

原料部
実装場地上の屋根の改善

研削部
工機階段・設備の明るさUP

開発部
滑りやすい階段の改善

3S活動報告書

3S作業風景



クレープ紙製品のご紹介

■製袋用

創業以来80年、セメント袋・米袋の口縫い部分の紙として使用され、国内トップシェア

■包装用

弊社独自技術（糸入り一次クレープ紙）の開発により、ステンレス／鉄／電線の梱包・防錆資材として使用されている

■層間紙

電子部品（リードフレーム、コネクター）関連の合紙として一般クラフト、中性クラフト無塵紙などが活躍

■ラッピング

花用（鉢・花束）ラッピングペーパーとして販売メーカーのオリジナル商品・手提げバッグなどを製造



クレープ紙とは、紙に刃をあてることで、シワを付け、強度と伸縮性を付加したものです。



アップサイクルサービスのご紹介 —PELP!（ペルプ）—

ペーパー ヘルプ プロジェクト
PEPAR HELP PROJECT

捨てず、燃やさず、めぐる紙

紙を捨てることは簡単
その代わり、ごみは増える
紙を燃やすことは簡単
その代わり、資源は消える
あなたにとってはいらぬ紙
地球にとっては貴重な資源

少なくとも、多くても
再生紙創りを専門とする私たちが
不用なコピー用紙を回収し
地球の資源を救います

紙は生まれ変わり
あなたのもとにまた還る

捨てないで、燃やさないで
ふたたび、みたび、めぐる紙

PELP! は、コピー用紙を資源に変える アップサイクルサービスです。

2018年5月に「KAMIDECO（カミデコ）」から「PELP!（ペルプ）」に生まれ変わりました。

不要なコピー用紙を専用回収袋「PELP!BAG」に入れ、山陽製紙に送ることで、今まで捨てられていた紙が再生紙として、生まれ変わります（PELP!PAPER）。その100%再生紙で思いの詰まったより価値のある「PELP!PRODUCT」が作られます。

資源としてまた使える紙が捨てられているのを何とかしたいという思いから生まれた「PELP!」。送った紙の総量とCO2削減量などの環境貢献指数が一目で分かるシステム（KAMITORE）の閲覧や、環境活動にも貢献できます（1%FTP）。自社のCSRやSDGsにも活用できる、手軽なアップサイクルサービスです。

このサービスを広げるため、全社営業で取り組んでいきます。



「1% FOR THE PLANET」は、自然環境保護の必要性を認識する企業の間盟です。「PELP!」を通じて生じた売上上の1%は自然保護活動を行う団体に寄付されます。



世界に先駆けて再生紙のトレーサビリティを可能にしました。どの企業で分別された紙が、どんな紙に生まれ変わったかなど、再生状況の全てが追跡可能に。再生重量総量を環境貢献指数に換算表示。



アップサイクルブランドのご紹介 —SUMIDECO (スミデコ) —



SUMIDECO

日本古来の健康食品として名をはせている『梅』。我が社はそのブランドである「南高梅」の産地のほど近くにありまます。美味しい「南高梅」は、世界中の人に愛されていますが、一方で、加工業者から出る梅の種が産業廃棄物としてその処分が問題となっていました。そこでその種を「炭」にして、用途を広げるために紙の中に抄きこめないと依頼がありました。弊社は独自の製法で、梅の種の「炭」を紙の中に抄き込み、「炭」の機能を持った紙に生まれ変わらせました (sumideco paper)。その再生紙のブランドが「SUMIDECO (スミデコ)」です。



炭化させた種などを紙に抄き込み、炭が持つ優れた機能を生かした再生紙

「不用になったモノを捨てずに再活用し、よりよいものにする (アップサイクル)」というコンセプトを基に独自技術で産業廃棄物を炭化し配合した「炭再生クレープ紙: sumideco paper」。炭の機能性を活かした(※)、靴の消臭シート「エコクック」を販促用として展開したり、独特の風合いを活かして、「SUMIDECO」として、ブックカバーなどの製品も手がけています。「古紙・炭・水」だけで作られたエコロジーなプロダクトです。

sumi eco KuKKu



※炭の持つ優れた機能

- 脱臭・消臭効果
- 防カビ・抗菌効果
- 除湿・調湿効果
- VOC・ホルムアルデヒド吸着効果 (※エチレンガス吸着効果による)



SUMIDECO product



アップサイクルブランドのご紹介 —crep (クレプ) —



工業用クレープ紙の特徴を活かした、「自然を楽しむ」アップサイクルブランド

“自然をもっと楽しもう”をコンセプトに生まれたの紙のプロダクトブランドです。紙製レジャーシート「ピクニックラグ」などの crep (クレプ) の商品は、電線の包装等に使用される再生紙「工業用クレープ紙」の高い強度を活かしており、紙にも関わらず繰り返し使えます。紙ならではの素朴な風合いと親しみやすいデザインが、ピクニックなど自然を楽しむアクティビティをやさしく彩ります。

crep は、使い捨てではない新しい紙の可能性を広げながら、人と自然のより良い関係について考え続けていきます。



GOOD DESIGN AWARD 2018





工場見学&紙抄きイベント



工場見学やイベントの
出展が多くなりました。
工場見学は、企業・団体様、
ご家族まで、**随時受付中**です。
詳しくは、弊社HPを
ご覧ください！



紙の活性炭塔
100m/h

ベトナム出身
の新しい仲間



これからも美しい自然を守り、後世に残すため、
「循環型社会」を目指し、「自然を守る活動」や
「地球環境負荷低減活動」に全社員で取り組みます！



代表者による全体の評価と見直し・指示

64期も新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず環境活動においても多難な1年となりました。特にCO2の削減に関しては目標を大幅に下回り残念な結果となりました。この主な要因は小ロットでお客様に提供するオーダーメイド紙の製造が増加してきたことが第一に考えられますが、オーダーメイド紙は今後の当社製品の柱にするべき製品です。生産性の向上に十分な対策を講じて65期には大幅な削減が出来るよう全社を挙げて取り組みましょう。

特に65期から委員会活動に脱炭素経営推進委員会を設けます。この委員会がリーダーシップをとって各部門のCO2削減目標を明確にしてPDCA管理することを期待します。営業面ではコロナ禍の中でリモートワークが進み、ZOOMを活用したお客様対応が増えてきました。特に工場の現場社員とお客様がZOOMを活用して情報交換することでお客様の利便性も向上し、当社の工場社員にとってもお客様との距離が近くなり、お客様満足に効果が発揮されていると感じます。

工場見学もコロナ禍の影響で受け入れも減少していますが、ZOOM活用によるオンライン工場見学も準備を進めています。コロナ禍をイノベーションのチャンスと捉えてチャレンジしてください。

昨年(2020年)、株式会社フォーバル様との業務提携により、PELP!会員が順調に増加しています。会員の増加と共に紙の循環に関する課題も生まれ、出口商品の開発も急がれます。企画開発部を中心に全社を挙げて商品開発並びにお客様満足のために知恵を絞りましょう。

ドリカムスクールも6年目を迎えました。弊社社員の人財育成に大きな効果を発揮していますが、それ以上に先生方や市の教育委員会からも大きな期待が寄せられています。今年度はSDGsを小学校の生徒達と共有する事が課題の一つとなっています。是非交流を深めて山陽製紙の泉南市における存在感が高まることを期待しています

- ① コロナウイルス蔓延
- ② リモートワークによる営業
- ③ ドリカムによる地域貢献(6年目)
- ④ 各地での展示会・イベント現象
- ⑤ 工場見学の中止
- ⑥ 男里川の清掃16年目



これからも美しい自然を守り、後世に残すため、「循環型社会」を目指し、「自然を守る活動」や「地球環境負荷低減活動」に全社員で積極的に取り組みます！





最後までご覧いただき、ありがとうございました！